

言語の対照研究の方法について

井上 優 (麗澤大学)
masinoue@reitaku-u.ac.jp

1. はじめに

・井上の研究目標

「このことは一見とても不思議だが、こう考えればごく自然なことに見えてくる」という視点(言語について考えるためのヒント)をできるだけ数多く見出す。

・井上が日本語と中国語・韓国語の対照研究をおこなう理由

- ①対照研究は「複数の言語を公平に見られる」視点(=言語間の一見不思議な類似や相違が自然なことに見えてくる視点)を見出す研究である。
- ②2つの言語を比較対照した方がそれぞれの言語のデザインや現象のあり方がくっきりとした形でイメージできる。
- ③対照研究であれば日本語研究者の立場から外国語について考えることができる。(外国語の現象は本当に不思議なので、自分なりに考えてみたいという気持ちも強い。)
- ④井上にとって中国語・韓国語は母語(母方言)の次に身近な言語である。

・対照研究の方法(=複数の言語を公平に見られる視点を見出すコツ。≠研究の手順)

- ①言語間の相違は「何かがおほんの少しずれているだけ」と考える。
- ②個々の疑問に暫定的な回答を与えることを積み上げながら考える。
- ③問題の現象がどういう現象であるかをできるだけ具体的にイメージする。
- ④できるだけ比較しやすい形で考え、説明のしかたもできるだけ柔軟に考える。
- ⑤現象間の関連(特に2言語間の基本的な類似や相違との関連)を常にイメージしながら考える。

2. 物語の結末部分での“着”

・童話や昔話の中国語訳では、結末部分で“V着”が用いられることがある。(日本語で「ていた」で物語が終わるのは不自然。)

・グリム童話「ロバ」の結末部分

- (1) a. そうして王様は若者に国を半分与えましたが、一年経って王様が亡くなると国全体が若者のものとなりました。そして自分の父親が亡くなった後はもう一つの国も若者のものになり、栄えある生涯を**送りました**(#送っていました)。(終わり)

(<http://www.ab.auone-net.jp/~grimm/grimm112/donkey.html>)

- b. 于是,老国王给了他半个王国。一年后,老国王一死,整个王国都是他的了。他父亲死后,他又得到另一个王国,因此**过着**荣华富贵的生活。

(杨武能・杨悦译《格林童话》)

・グリム童話「三枚の羽根」の結末部分

- (2) a. こうして抜け作は王様の冠を受け取り、長い間賢く国を**治めました**(#治めていました)。(終わり) (<http://www.ab.auone-net.jp/~grimm/grimm49/3feathers.html>)

- b. 小呆子因而戴上了王冠,长时间贤明地**统治着**王国。(杨武能・杨悦译《格林童话》)

- ・日本語（テンスあり）のアスペクト = 事象と時間との関係。遠視眼的。
- ・中国語（テンスなし）のアスペクト = 事象の形。近視眼的。
(木村 1982, 井上・生越・木村 2002)

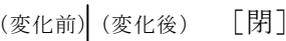
- (3) a. 8時にご飯を食べた。(完成相)
b. 8時にはご飯を食べていた。(継続相)



- (5) a. 店を出た。犬が吠えた。 [出来事1 → 出来事2] (継起関係)
b. 店を出た。犬が吠えていた。 [出来事1 - 付随状態] (同時関係)
- (6) a. 朝、私はCDを聞いていた。そこに電話のベルが鳴った。[場面設定 - 出来事]
b. ??朝、私はCDを聞いていた。昼にラーメンを食べた。

- (7) a. 私はずっと彼を {待った / 待っている}。 事象
b. 我一直 { *等了 / 等着 } 他。  [開]

- (8) a. 私は彼を3時間 {待った / 待っていた}。 事象
b. 我 {等了 / *等着} 他三个小时。  [閉]

- (9) a. 私の猫が {死んだ / 死んでいる}。 事象
b. 我的猫 {死了 / *死着}。  [閉]

- (10) a. 我坐下了。忽然他睁大眼睛，恶狠狠地瞪着我。
b. 私は腰をおろした。突然彼が眼を見開き、私を憎らしげににらみつけた (#にらみつけていた) (木村 1982 : 一部改変)
c. 私は腰をおろした。見ると彼が眼を見開き、私を憎らしげににらみつけていた。

- ・(1)(2)の“V着”は「幸せな生活／賢明な統治の持続」を述べるだけで、「同時関係」「場面設定」という意味は特にないので、物語の結末でも使用可能。
(→理屈としてはわかるような気もするが、(1)(2)で“V着”を用いる感覚が具体的にイメージできない。)

- ・絵本（紙芝居）やアニメにおける童話や昔話の終わり方

(11)

<語り>	……	こうして二人は幸せに暮らしました。(おしまい)
<映像>	……	「幸せに暮らしている」情景

- ・(1)(2)の“V着”は（おそらく）物語の最後で「幸せに暮らしている／賢明に国を治めている」情景を見せるのと同じ感覚。
(→言語学的な説明にはなっていないが、(1)(2)の“V着”の使用がどういう現象であるかは具体的にイメージできる。これをどう言語学的な説明にもっていくかが課題。)

3. テンスの有無と文法現象 (井上(印刷中))

【しばしば経験すること】

- ・日本語では言語化しなくても表現できることが、中国語では言語化しないと表現できない。
- ・日本語では1要素で表現できることを、中国語では複数の要素を組み合わせて表現する。

【基本的なイメージ】

- ・日本語も中国語も述べたいことは基本的に同じだが、同じことを述べるのにまったく異なる述べ方をする。(その背景にあるのはテンスの有無。)
 - a 日本語 (テンスあり): 場面 (時空間) の中に事象を位置づける。
 - b 中国語 (テンスなし): 事象や場面そのものを構成的に描き出す。
- ・中国語では表現素材としての「素表現」とそれに個別性・具体性を与える表現とを組み合わせて「個別的具体的表現」をつくる。(大河内 1997)

○変化の表現

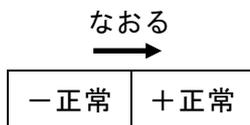
- ・日本語: 自動詞単独で「変化前→変化後」という推移(変化)を表せる。
- ・中国語: 「動作-結果」の組み合わせで「変化前→変化後」という推移を描き出す。

- (12) a. 彼の病気はすでに治った。(治療の結果治った/自然に治った)
b. 他的病已经治好了。(病気が治療して治った)
c. 他的病已经好了。(病気が自然に治った)
- (13) a. 彼の自転車はすでに直っている。(修理の結果直った/??自然に直った)
b. 他的自行车已经修好了。(自転車が修理して直った)
c. *他的自行车已经好了。(*自転車が自然に直った)

- (14) 「変化」のスキーマ



- (15) a. 「なおった」 b. “治好了” c. “好了”



○描写性の形容詞文

- ・日本語は形容詞だけで個体の属性や状態を描写できる。
- ・中国語の形容詞が表すのは属性というより「尺度」。個体の属性や状態を描写するには、程度の限定(程度副詞)や様態の限定(重ね型形容詞)が必要。

cf. 属性形容詞(性質形容詞) / 状態形容詞(朱 1981)

・“太”（想定以上のレベル）＋形容詞＋“了”（想定を超える） cf. 下雨了。

- (26) a. 这个太贵了。(これは高すぎる)
b. 那太好了！（それはいい！）

・“挺”（満足できるレベル）＋形容詞＋“的”（実感あり）

・“怪”（気持ちがひかれるレベル）＋形容詞＋“的”（実感あり） cf. 明天会下雨的。

- (27) a. 那个餐厅的菜挺好吃（的）。（あの店の料理はなかなかおいしい）
b. 这只小狗怪可爱的。（この子犬はなんともいえずかわいい）

○副詞の役割

- (28) a. 公演は7時半に始まるが、彼は**7時に**（もう）劇場に着いた。
b. 演出七点半开始，他七点**就**/#φ}到剧场了。 [就：促進する力あり]

- (29) a. 公演は7時半に始まるが、彼は**8時に**（やっと）劇場に着いた。
b. 演出七点半开始，他八点**才**/#φ}到剧场。 [才：阻害する力あり]

（以上劉月華ほか 1983）

- (30)（通勤電車で。ふだんは最寄りのA駅では座れないが、今日は運よくA駅で座れた）
a. 今日**A駅で**（もう）座れた。（＝今日はA駅の段階で（もう）座れた。）
b. 今天在A站**就**/#φ}坐上座位了。

・日本語では、時間や地点に自動的に〈段階〉の意味が付与される。

（→時間軸やスケール上の位置で〈段階〉を計る。）

・中国語では、“就”“才”と言わないと時間や地点に〈段階〉の意味が付与されない。

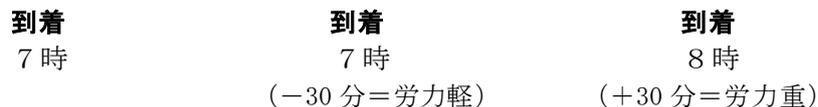
（→労力の軽重，促進・阻害する力の度合いで〈段階〉を計る。）

- (31) 日本語



- (32) 中国語

- a. 七点到剧场了。 b. 七点**就**到剧场了。 c. 八点**才**到剧场。



- (33)（帰りの通勤電車から妻にメールする）

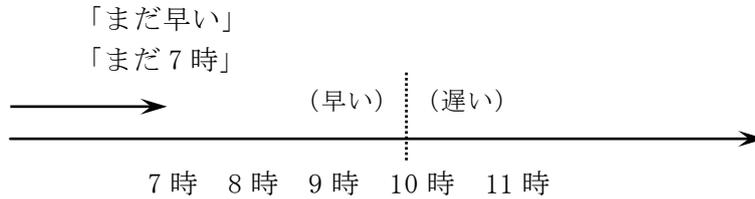
- a. 6時20分の快速に乘りました。（この調子で行けば）8時に（は）家に着きます。
b. 我坐上了6点20分的快车，8点**就**/?φ}到家。

- (34)（講演のために赴いた高知大学から妻にメールする）

- a. 高知大学に到着。講演会は2時開始です。
b. 我已经到高知大学了。演讲会**才**/?φ}两点开始。

- (35) 时间还早，才七点钟。（時間はまだ早い。やっと7時だ（まだ7時だ）。）
 （小学館中日辞典第2版：一部改変）

- (36) 「まだ早い」「まだ7時」（スケール上の位置）



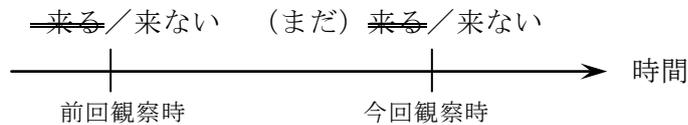
- (37) a. “还早”（変化なし） b. “才七点钟”（阻害力による未到達感）



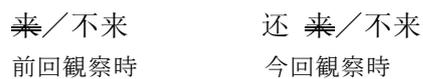
- (38) (待っているバスが来る様子がない)
 a. おかしいなあ。(まだ)来ないなあ。[現在の状態]
 b. 怎么回事，{还/#φ}不来呀。

- (39) 太郎今天不来。(太郎は今日は来ない。)[未来の予定]

- (40) 日本語：時間の流れにのって2つ（以上）の時点に言及する。



- (41) 中国語：“还”（変化なし）を用いて2つ（以上）の時点に言及する。



- (42) 甲：今度千葉の方に遊びに来てください。

乙：（「ぜひ」という気持ちで）

a. はい，（ぜひ）行きます。

b. 我一定去。/#我去。（→意志が強い）

- (43) 甲：你去吗？

乙：（行くか行かないかという）我去。（→意志の強さを問題にしていない）

○イメージの具体化と文の成立

- (44) a. ??他吃了₁饭。

b. 他吃了₁饭了₂。（彼は食事をしたところです）

c. 他吃了₁饭就走了₂。（彼は食事後すぐに出かけた）

- (45) a. *袜子破着。 cf. 袜子破了。
 b. 袜子还破着呢。(靴下はまだ破れたままでよ)
 c. 袜子破着, 还没补呢。(靴下は破れたまま, まだつくろっていない)
- “了₁” (閉じた形), “着” (開いた形) は「重ね型形容詞 (様態のデザイン) + “的” (実体として存在)」の “的” と同じく, すでにあるデザインを出来事化するだけ。
 cf. 実存相 (木村 2006)
- “吃饭” (食事する) は潜在的には「閉じた形」の事象。
 (44a): “吃饭” だけでは食事の完結 (閉じた形) が具体的にイメージされないので, “了₁” (完了) で出来事化されるべきデザインがない。
 (44b): “了₂” で「食事場面→現在の場面」という場面変化を述べることにより, 食事の完結が具体的にイメージされ, “了₁” (完了) でそれが出来事化される。
 (44c): 「食事→出発」という推移の描写により, 食事の完結が具体的にイメージされ, “了₁” (完了) でそれが出来事化される。
- “破” は可逆的な変化。潜在的には「破れたままの状態の持続」が想定可。
 (45a): “破” だけでは「破れたままの状態の持続」がイメージされないので, “着” で出来事化されるべきデザインがない。
 (45b): “还” や場面保持を表す “呢” を用いることにより, 「破れたままの状態の持続」が具体的にイメージされ, “着” でそれが出来事化される。
 (45c): 「未修復である」ことを述べることにより, 「破れたままの状態の持続」が具体的にイメージされ, “着” でそれが出来事化される。

○文法的な完全性と完結感

- (46) a. 我在新宿换上了₁ 快车。(新宿で快速に乗り換え。)
 b. 我在新宿换上了₁ 快车, 车上人很多。(新宿で快速に乗り換え。人がとても多い)
 c. 我在新宿换上快车了₁。(新宿で快速に乗り換えました。)
- (47) a. 井上在学习汉语。(井上は中国語を勉強中。)
 b. 井上在学习汉语, 很忙。(井上は中国語を勉強中で忙しい。)
 c. 井上在学习汉语呢。(井上は中国語を勉強中です。)
- 個別具体的な出来事を叙述する = 「場面」つきで事象を叙述する
- 日本語: 述語に時間の要素が内包されており, 事象の叙述がそのまま場面つきの叙述 (場面を見渡す遠視眼的視点からの叙述) になる。
- 中国語: 述語に時間の要素が内包されていない。基本的に事象の形に注目する近視眼的視点からの叙述。場面を見渡す遠視眼的視点からの叙述にするには2つの方法あり。
 a 2つ以上の事象を述べる。(背景なしの人物写真は全身写真でしかないが, 2人以上の人物が写っていれば「情景」らしさが増すのと同じ。)
 b 文末助詞 “了₂”, “呢” をつける。(背景なしの人物写真は全身写真でしかないが, それを動画の一部にして人に動きを与えたり, 写真に背景をつけたりすれば「情景」になるのと同じ。)

- 井上優（印刷中）「テンスの有無と事象の叙述様式—日本語と中国語の対照—」『日中理論言語学の新展望2：意味論』くろしお出版
- 井上優・生越直樹・木村英樹（2002）「テンス・アスペクトの比較対照—日本語・朝鮮語・中国語—」，生越直樹編『シリーズ言語科学4：対照言語学』，東京大学出版会
- 大河内康憲（1997）『中国語の諸相』白帝社
- 木村英樹（1982）「テンス・アスペクト：中国語」，『講座日本語学11：外国語との対照Ⅱ』，明治書院
- 木村英樹（1997）「‘変化’和‘動作’」『橋本萬太郎記念中国語学論集』内山書店
- 木村英樹（2006）「「持続」・「完了」の視点を超えて—北京官話における「実存相」の提案—」『日本語文法』6-2，くろしお出版
- 朱德熙（1981）『語法講義』北京：商務印書館（杉村博文・木村英樹訳1995『文法講義 朱德熙教授の中国語文法要説』白帝社）
- 劉月華・潘文娒・故韡（1983）『实用現代漢語語法』北京：商務印書館（相原茂監訳1991『現代中国語文法総覧』くろしお出版）（原著増訂本：2001，商務印書館）